

平成28年6月27日

「ありがとう」の言葉のちから

校長 柳瀬充男

好天が続いていた6月上旬の午後、教頭先生と私で、正面玄関の剪定や草刈りをしました。途中で、「草刈りごくろうさま。」「きれいにしてくれてありがとうございます。」という子どもの声が聞こえてきました。どこから声をかけてくれたのかと思って見回してみると、二階の二年生の教室からでした。ちょうど教室の窓から、作業をしているのが見えたのでしょう。とても暑い日でしたので、汗だくになって、剪定や草刈りをしていました。疲れてきたし、一休みしようかなと思っていたところに、この声が聞こえてきたのです。この声が聞こえると、不思議と今までの疲れが吹っ飛んでしまいました。

「ありがとう」という言葉は短い言葉ですが、この言葉には、こんな素晴らしい力があるのだと改めて思いました。たった一言「ありがとう」というだけで、周りの人の気持ちを明るく、元気に、気持ちよくしてくれます。みんなで、このすてきな言葉をどんどん使っていきたいと思います。